



佐藤 幸一 議員

問 旧しみず温泉フロアの売却後の状況について伺う。

町長 平成20年4月に大阪府堺市に所在する会社が施設を取得し、同年6月から営業を開始したが、平成22年10月から休業となっている。

問 施設周辺の環境について、防犯、防火の対策は講じているか。

町長 無断で私有地に入ることはできないので詳細は把握していない。苦情は寄せられていないが、危

問 険性があると判断したときには、所有者に対し改善するよう通知する。

町長 道路脇に設置してある看板について、観光客が営業中だと勘違いして行ってしまうことがある。何か対策が必要ではないか。

町長 看板についての問い合わせは多く、その対応について弁護士に相談した経過もあるが、所有者の同意が得られないと町が改装、処分することはできないという判断であった。事業の再開や看板の取扱いについて所有者の明確な意思表示がないと、本町が講じることのできる手段について、具体的な方針を立てられない。所有者の意思が確認できた時点で、対応策を検討する。

特急の停車便増加に向けた今後の取り組みは

町長 今後も要請を続ける

問 芽室町長とともにJR北海道釧路支社へ出向き、「特急「スーパーおおぞら」の停車便増加を要請したとのことであるが、今後の取り組みについて伺う。

町長 現在、特急スーパーおおぞらで十勝清水駅、芽室駅に停車する列車は上下線とも各1本であり、今後においても粘り強く要請を続けていく。

問 跨線橋対策についても要請したと思うがJRの反応は。

町長 継続的に協議、要望をしているが、財政的に実現が困難であるとの考えは変わっていない。

問 構内通路の設置要望についてはいかがか。

町長 安全性確保のため新たな構内通路の設置は行わないとの考えは変わっていない。

問 新保育施設周辺の安全対策として、車進入規制計画を策定する必要があるのでないか。

町長 国から計画策定に関する情報が届いていない。お子さんの送迎などの際に交通量が増えることが予想されるので、保護者や近隣住民の方々には安全に走行していただくようご理解とご協力をお願いしていく。



建設中の保育施設と周辺道路

新保育施設周辺の安全対策は

町長 安全走行をお願いしていく

防犯カメラの設置・管理に 規範を設けるべきでは 町長 防犯カメラ設置は必要最小限に限定

問 住民の生活様式が多様化するにつれ、犯罪の形態も広域化・凶悪化する中で、安全で安心して生活できる環境を地域ぐるみでつくること

町長 新得警察署によると、平成30年1月から12月の犯罪の認知件数は17件で、内訳は凶悪犯と粗暴犯各1件、窃盗犯12件、知能犯2件、その他1件となっている。

問 不審者などの情報提供があった場合、その情報をどのような方法で地域住民に伝えているか。情報発信の現状について伺う。

町長 不審者情報等が発生した場合、役場防犯担当者、学校教育課、子育て支援課等から学校、保育所を通じて各保護者への注意喚起を実施し、必要があれば生活安全推進委員会防犯部会員等が防犯パトロールを実施している。

問 夜間における、犯罪の防止及び交通安全に対する有効な手立てである防犯灯設置の整備状況について伺う。

町長 街路灯も含め町全体で約1400基を設置している。

問 防犯カメラは犯罪抑止効果や万が一の事件の解決に有効と評価され、公共施設にも設置される傾向にあるが、本町の設置状況と今後の設置予定の施設はあるのかを伺う。

また、撮影された画像の取り扱いについては、住民のプライバシーが侵害されるおそれがあると考えられる。防犯カメラの有用性に配慮しつつも、住民の権利を保護することを目的に、防犯カメラの設置・管理に特化した規範を設けるべきと考え

町長 防犯カメラは、清水小学校通学路のJR地下歩道に2台設置されており、今後は新しい保育施設に設置予定である。

首都圏等では防犯カメラ設置による不特定多数の画像記録で犯罪抑止力を発揮しており、自治体設置では個人情報保護等を目的に要綱や管理条例を定め、住民に対してはガイドラインを定める自治体もある。



奥秋 康子 議員



清水小学校通学路の地下歩道に設置されている防犯カメラ

本町では、都市部のような犯罪抑止力を目的とした防犯カメラの設置予定はなく、公共施設等への設置は防犯上必要最小限に限定し、防犯カメラの設置・管理については、①設置にかかる目的が明確であること、②目的を達成するために必要な範囲内で利用されること、③設置者による責任を持った管理・運用がなされること等を基準として、適切に設置の必要性を判断していく。